

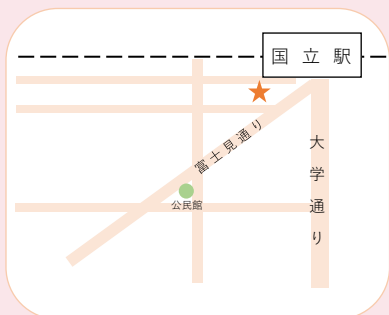


おけらし Okerashi

安心していただける地域の居場所



開催場所：焼肉国立ゆえ（中1-8-9）



開催日時：第2・4火曜日
10:00～15:00

Facebookで活動の様子を
ご覧いただけます。



国立駅から徒歩1分にある焼き肉屋「焼肉国立ゆえ」で、月2回、自由に過ごせる居場所として日中に実施しています。居場所名の「Okerashi」は鹿兒島弁の「おかえり」が由来です。

始めたきっかけ

学校へ行けない、学校へ行かない選択をした子どもたちが、次に進むための元気をチャージできる居場所として、焼肉国立ゆえさんが場所を提供してくれたことがきっかけです。

子どもたちが多世代の交流を通して、色々なことを感じ、考え、地域の顔見知りを増やすことで、安心して過ごす居場所を作っています。

自由な発想が尊重される空間

夏休みには大学生のボランティアスタッフが、“Children’s bar”(子どもたちのバー)を企画しました。色々なジュースから、何と何を混るとどんな味になるか想像しながら、自分だけの特別なドリンクを作る企画です。

ここでは、好きなことを通じて、子どもの自由な発想が尊重される空間を目指しています。



安心してできる空間で思い思いにお絵描きをする様子。

参加してくれた方からの反応と活動への思い

参加してくれた子どもやご家族から、“大学生との交流をして翌日学校へ行く元気がもらえました”“子どもが話を聞いてもらったのでスッキリした様子で帰ってきました”との感想が寄せられていると共に、ボランティアスタッフからも“子どもたちと遊んでお互いに元気になる”との感想をもらっています。

いま自分がいる場所だけで無く様々な人と関わりながら、のびのびと自分をだせるように、自由に過ごしてほしいと思います。



国立市社会福祉協議会(Okerashi主催)
野澤 力さん（後列中央）
伊藤 真理子さん（後列右）



042-575-3223

(国立市社会福祉協議会ボランティアセンター)

子どもと芸術の自由空間

何もなくていいなんでもできる



¥0

開催場所：芸術資源館（東3-15-11）



開館時間：毎週水曜日～日曜日（第4週は全日休館）
13:00～16:00（水曜日は21:00まで）

開館情報やイベント実施についての詳細は、HPでご確認ください。



<https://www.nu-art.tokyo/first/>

東地域の静かな住宅街に立つアトリエ「芸術資源館」で、子どもの自由な居場所を実施しています。

歴史のあるアトリエ空間

本芸術資源館は、約70年前に、洋画家のなかもとたつや中本達也氏とうすいみやこ臼井都氏の住居兼アトリエとして建てられました。



入口のすぐ右手にアトリエが広がり、奥に進むとダイニングのガラス戸から、ガーデンギャラリーが一望できます。



(上) 子どもたちの作品が展示されるガーデンギャラリー。旧国立駅舎の木材が再利用されている。

(右) ウッドデッキで自由にデッサン。アドバイスをもらうことも。



学校とは異なる空間づくり

ここに来る子どもたちは、自由に自分だけの時間を過ごします。絵を描く子、庭の木についている蝉の抜け殻がらを探す子、友達と追いかっこをする子など。時間に縛られずしばに自分の好きなように過ごせる空間は、現代のストレスフルな社会において、子どもたちにとって大事な居場所になると思います。



近藤 幸夫 さん（左上） 芸術資源館館長
山越 邦夫 さん（左下） 芸術資源館理事



office@nu-art.tokyo



042-507-5795

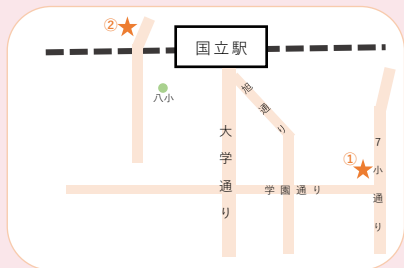
コンちゃん・まーちゃん・えっちゃん・ヤマちゃん（左上から時計回り）

パワーアップ塾

東・北地域の学習支援・食支援



開催場所：① 東4-27-11-201
② 北2-33-11-2F



開催日時：毎週月曜日～金曜日
15:30～18:30

東福祉館の近くのアパート2階などで、小学生から高校生のための無料学習支援を実施しています。希望者にはお弁当も配布しています。

始めたきっかけ

妻の難病や、自身の生い立ち、通っていた学校などの影響が大きいと思います。学生時代に家庭教師などの経験があり、自分にもできるかもしれないと感じました。縁のあった国立市で、2023年から学習支援と食支援を始めました。



学習中の様子。静かな環境でじっくりと学習に取り組むことができる。



(左) 1対1で勉強を教わる様子 (右) 勉強が終わった後に食べることができるお弁当



それぞれの子どもに合った教え方と環境を大切に

令和7年1月現在、17名が通っていますが、基本的には1対1で勉強を教えています。他の人の声など大きな音を苦手とする子や、つまづいているポイントが分からない子などが来ています。子どもによって困っていることは異なるので、一人ひとりしっかりと向き合うことができるのが良いところだと考えています。

今後、市内のより広い地域の子どもたちが利用できるように、活動を続けていきたいです。



木村 友昭さん



080-7354-4192

日本語学習支援教室 ひまわり

友達と一緒に楽しく学ぼう！
Let's study together!

हामीसँगसिक्नुहोस्
与我们一起学习!



開催場所：くにたち福祉会館分室
(富士見台1-17 1-2-10)



開催日時：毎週水曜日
小学生：15:30～17:00
中学生：17:10～18:40

毎週水曜日、富士見台第一団地内の郵便局の隣にある「くにたち福祉会館の分室」で、外国にルーツのある子どもたちの居場所・学習支援をしています。保護者を交えた交流イベントも実施しています。

始めたきっかけ

学習で使われる日本語が難しいことが理由で、勉強につまずいている小中学生がいるとの声が寄せられたことから、地域の学生や大人たちと協力して立ち上げました。

居場所の様子

小中学生を中心に約20名の子どもたちが通っています。ひとりの子どもに2~3人の担当者が付くことで、いつでも自分の先生が笑顔で迎えてくれる安心感と、継続的な学習の場を提供しています。

勉強の後は、先生や友達とおしゃべりやボードゲームなどをして楽しい時間を過ごしています。



(上)月に一度、ボランティアが企画した、日本の文化や行事に触れるお楽しみ時間。
(右)季節のイベントでハロウィンを楽しむ様子。



同じバックグラウンドを持ち、別々の学校に通う子どもたちが、この場所で交流を深めています。毎回30名程度の地域の学生や大人が、先生として子どもたちに勉強を教えています。



伊藤 真理子 さん (左写真後列右端)
野澤 力 さん (右写真)



042-575-3223
(国立市社会福祉協議会ボランティアセンター)



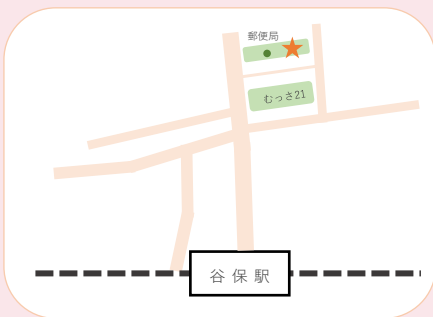
外国ルーツの子を中心とした学習・生活サポート

リング・リンクの学習室

外国ルーツの子のための学習支援



開催場所：UR集会所（富士見台1-7-1）



開催日時：毎週金曜日
15:30～17:00
中高生は18:00まで（要相談）

毎週金曜日、富士見台第一団地内のUR集会所で、主に外国にルーツを持つ子どもを対象に学習支援を実施している居場所。

保護者への学校プリントや制度の説明や、必要に応じて役所窓口同行なども行っています。

多様な国のルーツや事情を持つ子どもたちが、「リング・リンクの学習室」を利用しています。子どもたちの多くは、学校のお友達とのお話（生活言語）とは異なる教科書や授業で使われる日本語（学習言語）の習得が難しいという課題を持ちがちです。



お楽しみイベント

時には勉強しないで遊ぶ時もあります。

この日は、団地内のKUMITATE（シェア工房）をお借りして、材木カッターなどを使って本格的な工作教室を実施しました。



普段はマンツーマンでの学習時間のあとは、みんなで遊ぶ交流タイム。

安心して頼り合える空間

元教員や元塾講師、日本語サポートの経験が豊富なスタッフと、一橋大学の学生によるチームです。少人数制なので、子どもたち同士はもちろんスタッフも友達のように近い関係です。勉強以外にも不安なことがあれば、相談しようと思ってもらえる関係づくりを心がけています。



小野 円さん
（写真左から2番目）

吉村 多恵子さん
（写真左から3番目）



ringlinkkunitachi@gmail.com

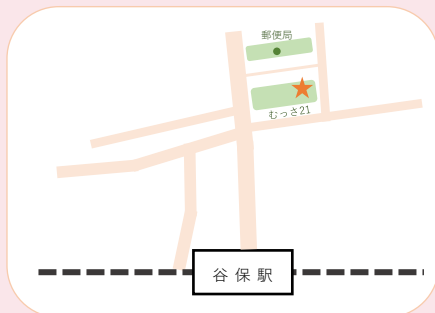
ご利用の際は、事前連絡が必要です（英語対応可）

駄菓子や「くにちゃん」

歴史ある富士見台の自由な居場所



開催場所 プラムジャム (富士見台1-7-1)



開催日時 毎週土曜日
13:00~16:00

ホームページ <https://kunichan.org>



毎週土曜日に、富士見台第一団地の第一号棟にある「プラムジャム」の一角で開いている居場所。子どもが自由に過ごすことのできる空間をつくっています。

多様な過ごし方ができる空間

駄菓子の並ぶ入口から室内に入ると、中にはボードゲームやブロックなどたくさんの遊び道具が。好きなもので好きなだけ無料で遊べます。駄菓子を買わなくても大丈夫、一人で来るのもお友達と来るのも大歓迎です。



駄菓子と一緒に販売されるお好み焼き (50円) は大人気。あたりにはソースの香ばしい香りが広がる。



(左) アイロンビーズ作品展の様子。
(右) お気に入りの駄菓子を買う子どもたち。



歴史ある居場所

約20年の歴史の中で、たくさんの子どもの成長を見届けてきました。一時期は、ここでアイロンビーズに熱中して取り組んでいる姿が印象的なお子さんがいました。進学を機に来る頻度は減ってしまいましたが、卒業を前にコロナ禍で遊び場所が無くなった子どものために作品を提供してくれました。その後「くにちゃん」や、国立旧駅舎内のスペースでも作品展を開きました。

ここで遊んでいた子どもたちの中で、多くの子どもたちが入学や卒業の報告に来てくれます。人生の節目にふと思い出す居場所。それが目標です。



吉村 多恵子 さん

日々の生活を一生懸命、頑張っている子どもたちが、週に1回思い切り好きなことをして「あー楽しかった！また来週も頑張ろう」と思ってもらえる居場所になればと思っています。



こどもの未来探求学習

多様な学びの機会を提供する
子どもの居場所



参加料等詳細は下記二次元コードからご確認ください。

開催場所：コトナハウス（富士見台1-8-38）



開催日時：毎週水曜日10:00～13:00

ホームページ https://note.com/mirai_tankyu

毎週水曜日、ダイヤ街のコトナハウスで、多様な体験機会を提供する自由な居場所を実施しています。



カードゲームを楽しむ子どもたち。

居場所の様子

幼児や、学校に行きづらい子どもたちをはじめ、その保護者の方なども、ここに立ち寄り、各々が思い通りに時間を過ごします。

工作をしたりオセロや塗り絵で遊んだり、料理をしたり、自分の興味のあることをとことん追求する子どもたちもいます。



外で元気に遊ぶ様子。



子どもの自主性を大切に

ここでは、子どもの自主性や自由な発想を大事にしています。子どもたちで昼ご飯を用意することもあります。そのときは、献立を考え、それに必要な材料を考え、商店街で買って来ることまで含めてやってみたりしています。他にもパンケーキアートのイベントでは、描きたい絵を綺麗に焼き上げられるために、ホットプレートの前に試行錯誤する様子がありました。小さい子どもたちの代わりに高校生ボランティアが焼いてあげるなど、年齢を超えた交流も見られました。



小保方 亜依さん

教員経験を活かし、子どもに応じた声掛けや、「学びが喜び」として実感できるような時間を創っていただけると幸いです。



mirai.tankyu@gmail.com



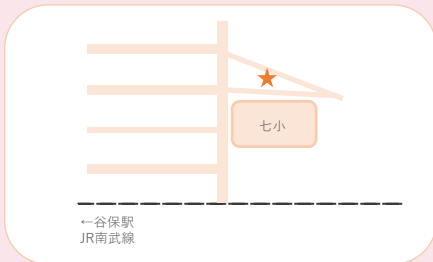
090-4137-6183

谷保のネオおばあちゃん家

懐かしくてどこか新しい



開催場所：蔵松屋（富士見台1-47-3）



開催日時：毎週水曜日または日曜日
14:00～17:00

活動日時は変更があります。
詳細はInstagram(yaho.neo)にて
更新されます。

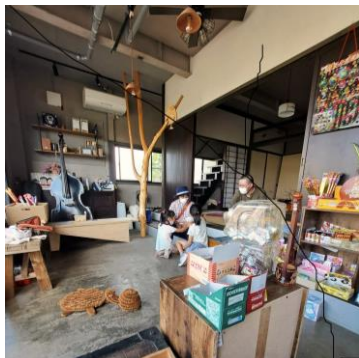


国立第七小学校から徒歩1分の立地にある
畳屋を改装し、多様な学習機会を提供
する自由な居場所を実施しています。



こだわりの空間

表から入ると目の前には土間。
豊富な種類の駄菓子や、興味を
刺激する幅広い内容を取り揃え
た本棚があります。
その奥に広がる10畳の和室は、
自由に遊んだり横になったりす
ることが出来ます。



(上) 演奏会を観覧する様子。普段あまり見られない楽器に子どもたちは
興味津々。

(右) 畳の間で茶道の先生からお作法を学ぶ様子。



多様なイベントの開催

開放的な空間を活用して、イベントや教室を開催しています。
茶道教室、演奏会や落語会见学の他、ワークショップなど、学校で
は学ぶことが出来ない、多種多様な学びの機会を用意しています。



くさか
日下 竹彦 さん（写真一番右）

普段の暮らしがちょっとおもしろく
なるような取り組みを、たくさんで
できると良いと思っています。駄菓子
子屋なので、お気軽にどうぞ～。



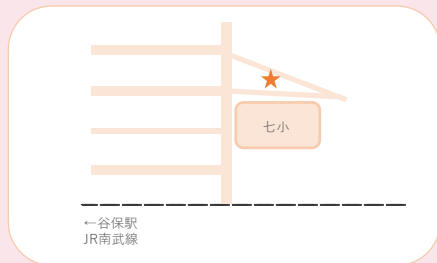
neo.yaho.bba@gmail.com

りんごのほっぺ科学あそび教室

楽しく科学に触れる学習支援・居場所



開催場所：蔵松屋(富士見台1-47-3)



開催日時：水曜日（隔週）
14:00～17:00

SNSで活動の様子を
ご覧いただけます。



月2回、国立第七小学校の近くの「蔵松屋」で、科学に関連したイベントを実施しています。

始めたきっかけ

小学校教員時代に、学習内容を「あそび」として体験できたら、勉強に対する心のハードルが下がるのでは無いかと感じたことがきっかけです。

また、幼少期によく過ごしていた近所のお家があったのですが、「親でも先生でもない大人」と関わることが嬉しかった記憶があり、そのような地域の大人になればいいと思っています。

居場所の様子

未就学児から小学生まで、年齢を問わず科学遊びを楽しんでくれています。

科学遊びが終わったら、駄菓子を食べたり本を読んだりして、自由に過ごす子ども達も多いです。

他にも矢川緑地などに行って、自然を体感しながら学ぶ「親子遠足」も不定期で開催しています。



(左) 落ち葉を顕微鏡で観察。
(右) 初夏、谷保天満宮での親子遠足の様子。

「日常生活」と「勉強」の橋渡しとして

毎回身近なものを活用して、ちょっとした科学の気づきを得られる時間になるように工夫をしています。

科学あそびは、やりたければやるし、やらないで違う過ごし方をしても大丈夫です。ここでの時間を自分の好きな時間にして欲しいです。



いりゅう
井龍 あい子 さん

普段頑張っている自分から少し離れて、楽な気持ちで過ごしてもらえたらいいなと思っています。



ringo.hoppe.science@gmail.com

みんなの家

畑の中で、つくる！楽しむ！自由な場所



¥0

草木染体験は500円

開催場所：畑の家・みんな畑
(谷保5069)



開催日時：月に1回開催しています。
詳細はInstagram(@minnanoiie.kunitachi)
でご確認ください。



月1回、自然豊かな「畑の家」で子どもと多世代の方々が一緒に過ごせる居場所を実施しています。

小中学生を中心に赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで、自然豊かな環境の中で、交流しながら自由に過ごせる居場所です。

畑の植物を使って季節のお茶づくりや草木染を楽しむこともできます。



草木染めの様子。



(左) 染料を確認する子どもの様子 (右) 準備している間、自由に時間を過ごす様子

多世代の交流の場として

遊びに来たおばあちゃんが子どもたちに植物のことを教えたり、反対に子どもたちが流行りのものを教えたりしている姿が印象に残っています。

また、子どもと遊びに来たお母さんが自然染料の足湯をして、ほっと一息をつくことができる場所になっていると感じています。

自由に居心地の良い場所として使ってほしいのはもちろんのこと、多世代の人達と交流することでできる新しい繋がりや、自然に触れることで気づく新しい発見なども楽しんでほしいです。

夕暮れフリースペース

放課後の子どもの居場所



開催場所：谷保くにたちはたけんぼ
(谷保661)



開催日時：第1・3金曜日
18:15~20:00

※月によって変わることがあります。
ご利用の前に団体へご確認ください。

月2回、自然豊かな「くにたちはたけんぼ」で子どもたちが自由に過ごせる居場所を実施しています。

始めたきっかけ

国立市に学校以外でも子どもたちが遊べる場、ごはんをともに食べることができる場を作りたいと考え、活動を始めました。

自然環境を活用して、集まった子ども同士、あるいは大人と、自由に濃密な交流を行っています。

子ども主体のアットホームな居場所の実現、地域住民とともに子どもの成長を見守ることができず。



みんなで一緒に夜ご飯を楽しむ様子。



大きな遊具で遊ぶ様子。

自然との触れ合い

ここに来れば、心を許せる友達と、心優しい大人と一緒に焚き火を囲み食事することができます。鳥骨鶏と触れ合うこと^{うこっけい}で、心を落ち着かせられた参加者もいました。

他にも、バッタを捕まえたり、飛んできたカブトムシを捕まえたり、自然に解放された場であるので、子どもたちは自由に遊ぶことができます。

澤田 宏子さん、小岩 瑠理子さん(夕暮れフリースペース代表)

夕闇の畑の中。焚き火のそばでみんなで一緒にごはんを食べて屋根に登ったり畑を走りまわって鬼ごっこしたり。ぜひ遊びにきてください。



evening.free.space.kunitachi@gmail.com

ご利用の際は、事前の連絡が必要です。

活動内容など詳細は、Instagramをご確認ください。
@evening_free_space

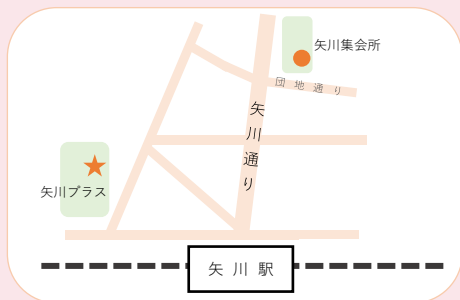


カワセミ塾

矢川駅近くの学習支援・居場所



開催場所：矢川プラス(富士見台4-17-65)
矢川集会所(富士見台3-32-4)



開催日時：毎週金曜日
小学生16:00～18:00
中高生18:00～20:00



ホームページ <https://kawasemijuku.amebaownd.com/>

毎週金曜日、矢川駅周辺で小中高生のための無料学習支援を実施しています。

始めたきっかけ

子どもや子ども家庭を取り巻く困難や課題に関係なく、その子がのびのびと勉強をする空間、無料塾の必要性を感じ開設しました。スタッフは、趣旨に賛同してくれた教員経験者や現役教員、大学生などが参加しています。

学習内容は、毎回本人の希望に基づいて決めています。

小学生は、1時間ほど宿題やワークを中心に集中して取り組んでもらい、終わった後はボードゲームなどで楽しく遊んでいます。



(左) 宿題で分からないところを教えてもらっている様子。
(右) 勉強が終わったあとの、遊び時間の様子。

多世代交流の居場所として

遊びの中でルールを確認しあったり、得意なことを他の人に教えたりするなど、学校や学年を超えた交流が見られます。またスタッフとして、近隣の大学生の方々が来ていただけるので、大変ありがたいです。子どもたちにとっても、年の近いお兄さんお姉さんとして喜ばれていると感じています。

日常的には関わることができない世代と交流することで、子どもたちにはここで色々なことを吸収し、自分に自信をもって自分で物事を考えられるようになって欲しいと思っています。



池田 真澄さん (後列右から1番目)

特にルールは決めず気楽な雰囲気ですが、勉強が中心です。勉強以外のことも自由に話せるような場にできたらと思います。



kawasemijuku@gmail.com



090-7235-0759

ご利用の際は、事前連絡が必要です。